

## 認知症作業療法 活動報告 (概要)

奈良県作業療法士会では、市町村からの依頼を受け認知症初期集中支援事業、サロンでの認知症啓発講座、認知症サポーター養成講座、認知症カフェ、本人ミーティングに県士会員を派遣している。また、2014年から事業部や県内ブロックと共同して認知症関連研修会を積極的に開催しており、2018年度から基礎・応用知識から実践につなげられるようにアップデート研修受講者による認知症事例検討会をGP(Good Practice)を用いて実施予定としている。同様に、県士会員の活動状況に関する情報集約を目的に、県内各ブロック(北和・中和・南和)の代表者を擁立し、定例会議による情報共有の強化を推進している。

## 認知症初期集中支援事業

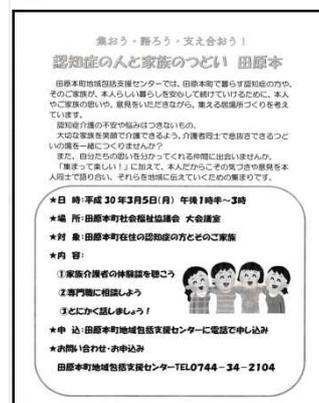
現在、認知症初期集中支援事業にOTが参画している市町村は8市町村となっている。初期集中支援チームとしての実動訪問は2例であり、その他複数の市町村にてチーム員会議・検討委員会に参加している。

## 認知症予防・啓発事業

高校への認知症サポーター養成講座、市民講座、ケアパス・リーフレット作成への協力、認知症相談会、通年の認知症予防教室、認知症カフェなど啓発や予防活動の幅がさらに広がりを見せた。また、県士会依頼・所属施設依頼・個人依頼など形態は未だ様々であるが、2018年度から強化した県士会員の情報共有により、これまで把握が難しかった地域の活動把握につながり、質の統制・人員協力に向け動き始めている。

## 認知症の家族と本人のつどい

田原本町では、今年度より本人ミーティング立ち上げのアドバイザー・講師として県士会員を派遣している。当事者が語りたこと・実施したいことなどの意思を尊重し、共有した作業について認知機能・課題を考慮した設定と作業活動選択についてOTが助言し、当事者・家族が一緒に実施する。同時に、別室で家族介護者が集まる語りの場も設けている。これまで2ヵ月に1回・計3回開催し、初回は1家族のみであったが、現在5家族が参加し、当事者の強みを活かした作業支援・家族の介護負担感軽減につながっている。



## 住民による地域認知症啓発事業

宇陀市では、既に住民主導で実践されているいきいき百歳体操の各会代表者(認知症サポーター養成講座受講者)に月1回、住民による認知症講話実践に向けた支援を開始している。住民主導で啓発を行うことで、気軽に話し合い、近隣住民同士の共通認識・支えあいの基盤づくりを目指している。1期生は9会場21名が参加し、OTは1講話15分・全5講話の内容を紙芝居形式(読み原稿付)で伝達する。徐々に各会場での実施頻度は増加し、住民主体の啓発の場となっている。



## 今後の展開

- ・県士会員の活動状況・情報の集約、支援体制強化に向けて活動を継続する。
- ・アップデート研修・ステップアップ研修を開催する。
- ・市町村・家族会への啓発と次年度以降の支援体制について協議を継続する。